

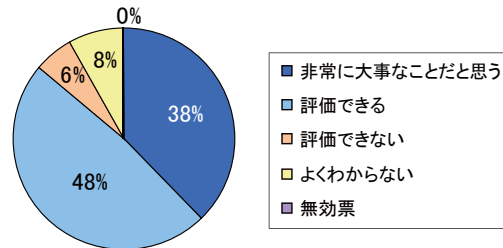
事業の実施に対する市民・駅利用者意向の把握

市民アンケート調査の実施

■実施概要 実施期間：平成21年11月
対象者：市内に居住されている方のうち、年齢や性別、地域等を考慮して2,000人を無作為に抽出
回収率：30.5%（回答数611人）

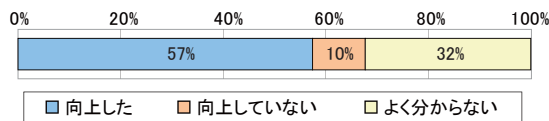
■アンケート結果（主なもの）

●事業に対する評価

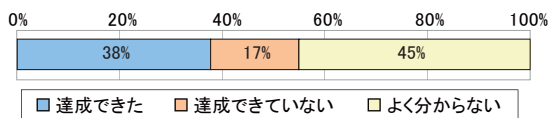


事業を評価できない理由としては、主に「事業が特定の地区に限定されている」「事業の必要性が分からない」といった意見が挙げられました。

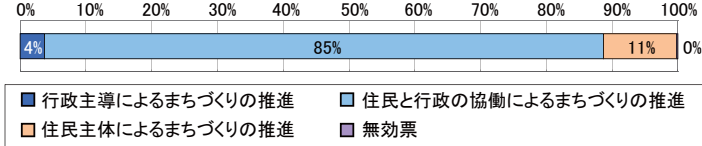
●まちの魅力の向上度（別府駅周辺地区）



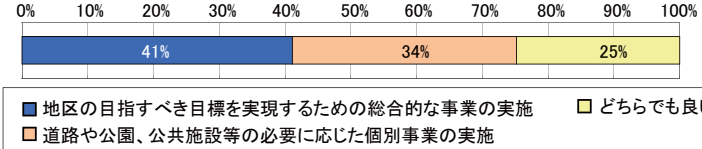
●地区の目標の達成度（別府駅周辺地区）



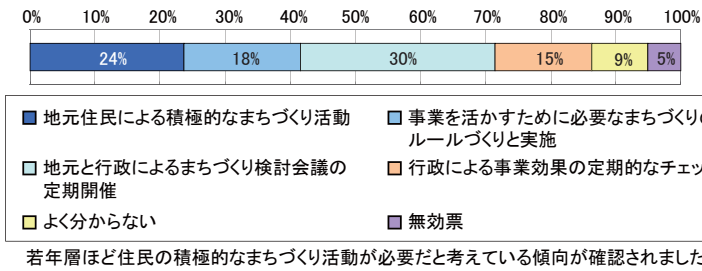
●今後のまちづくりの実施主体として望ましいもの



●今後のまちづくりの実施方法として望ましいもの



●まちづくりの効果を持続させるために特に必要なこと

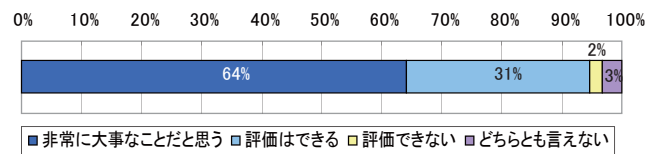


駅利用者インタビュー調査の実施

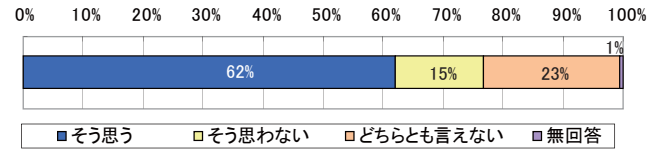
■実施概要 実施期間：平成21年11月12日（木）
対象者：別府駅利用者（サンプル数399人）
実施場所：別府駅構内、駅前広場

■インタビュー結果（主なもの）

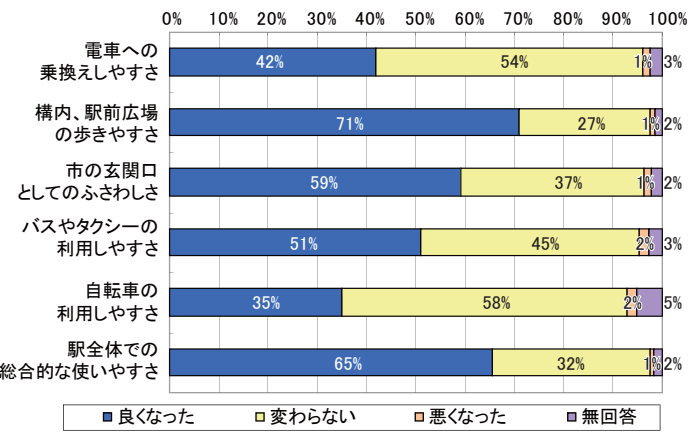
●事業に対する評価



●別府駅周辺地区のまちの魅力が向上した



●駅周辺の整備に対する評価



別府市まちづくり 交付金事後評価

別府駅 周辺地区

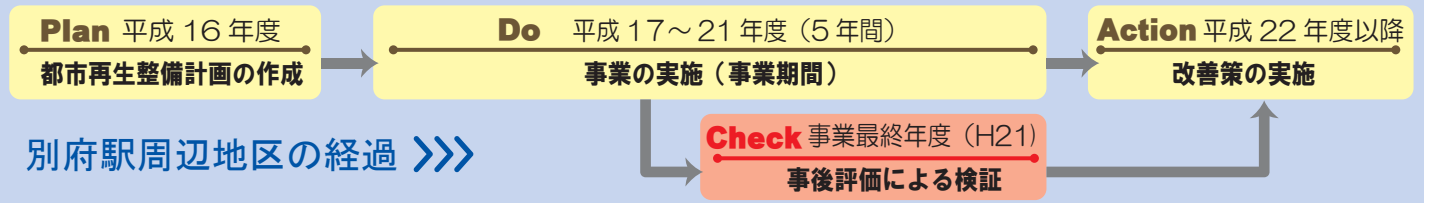
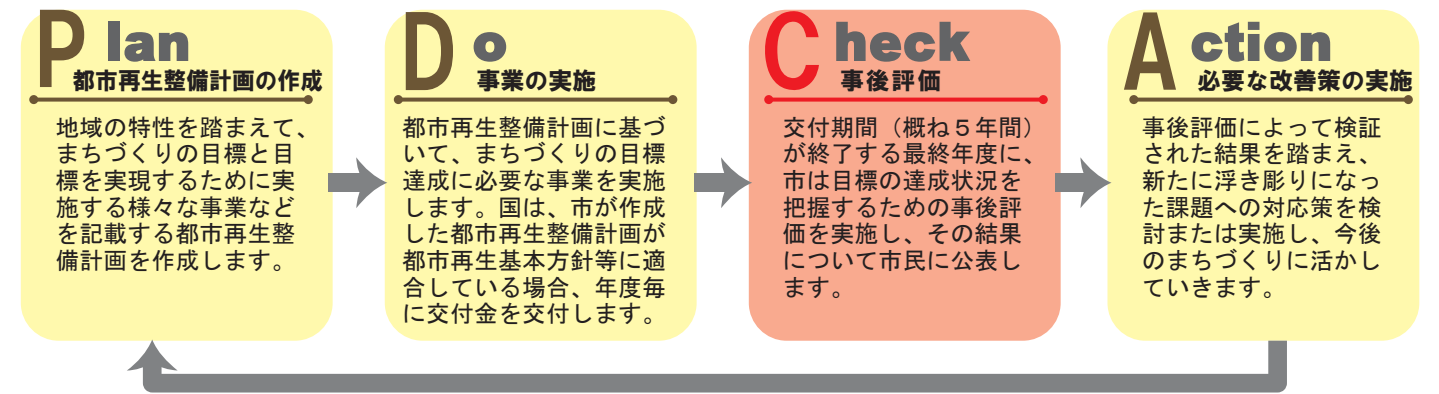
まちづくり交付金事業とは？

まちづくり交付金は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度で、「①地方の自主性・裁量性の大幅な向上」「②補助金の使い勝手の大幅な向上」「③目標・指標の明確化」が行われたことで、地域の創意工夫を活かした総合的・一体的なまちづくりを推進することが可能となりました。

従来であれば、道路整備は道路の補助事業、公園整備は公園の補助事業と限定された事業において、国の補助の対象として事業を実施してきましたが、まちづくり交付金では道路や公園、下水道などの従来の補助事業（これを基幹事業といいます）と、これまで補助の対象とならなかった事業（これを提案事業といいます）を組み合わせ、一体的に事業を実施することによって、最大40%の交付金（国費）が交付する仕組みとなっており、地域の創意工夫が活かせる事業となっています。

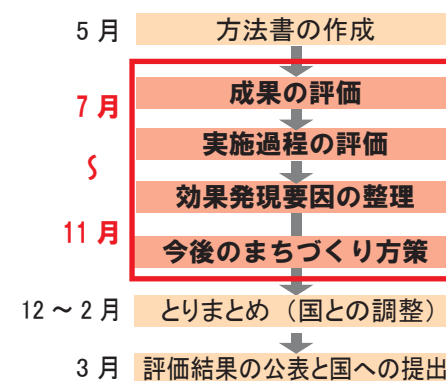
まちづくり交付金事業の流れ

まちづくり交付金事業は、地域が抱える課題やまちづくりビジョンに基づいて、まちづくりの目標や数値指標を達成するために必要な事業を記載した「都市再生整備計画」を作成（Plan）し、成果を意識しながら事業を実施（Do）し、交付期間最終年度に目標の達成度を評価（Check）するとともに、必要な改善点は速やかに改善する（Action）というPDCAサイクルを導入しています。



別府駅周辺地区まちづくり交付金事後評価（Check）の概要

■事後評価における検証の全体フロー



評価委員会による審議

審議事項

- 第1回委員会**
 - まちづくり交付金事業について
 - 都市再生整備計画の内容説明
 - 現地視察
- 第2回委員会**
 - 別府駅周辺地区の評価結果について
 - 市民意向調査の概要
 - 事後評価原案の公表内容
 - 今後のスケジュール
- 第3回委員会**
 - 事後評価結果（事後評価シート）について
 - 各種調査結果について
 - 今後のスケジュール



別府市 建設部 都市政策課

〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号
TEL 0977-21-1471 / FAX 0977-22-9478
mail: cip-co@city.beppu.oita.jp
http://www.city.beppu.oita.jp

主な基幹事業



別府駅前広場(西口)整備事業



バス・タクシーシェルター整備事業



駐輪場整備事業



情報板設置事業



観光モニュメント整備事業



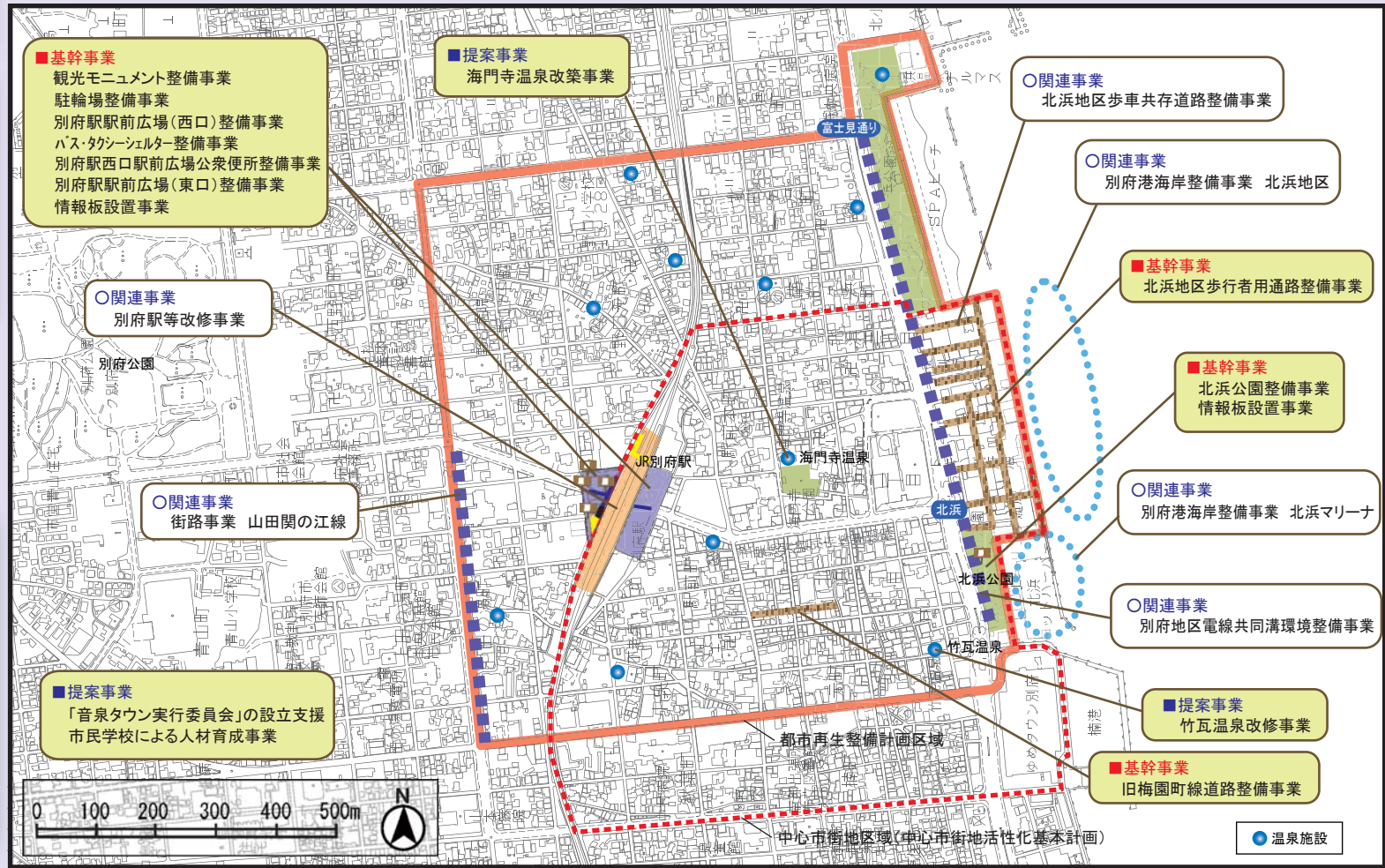
旧梅園町道路整備事業



北浜公園整備事業

都市再生整備計画（別府駅周辺地区）

- 大目標** 中心市街地の魅力と活力を向上させることにより、都市全体の活性化を図る
- 目標** JR 別府駅を中心とした一体的な整備と魅力的な都市空間の形成
- 目標** 別府市のへそづくり（別府駅前の「広場」整備による中心市街地活性化）



主な提案事業



海門寺温泉改築事業



竹瓦温泉改築事業



市民学校による人材育成事業



「音泉タウン実行委員会」の設立支援

目標を定量化する指標

指標項目	都市再生整備計画の設定		事後評価による検証 (平成 21 年度)		目標達成の最終確認
	従前値 (基準年度)	目標値 (H21)	評価値 (H21)	検証による総合所見	
別府駅周辺地区の観光客数 (人)	3,348,000 (H15)	4,017,000	4,112,681 (見込み値)	観光客数は年々増加し、現時点で目標値を上回った。駅周辺及び拠点施設の一体的な整備により、回遊性や利便性が向上し、まちの魅力アップにつながった。	平成22年度実施予定
駅前広場内の迷惑駐輪台数 (台)	100 (H16)	0	20 (確定値)	自転車駐輪場の整備による駐輪可能台数の増加や駅前広場整備による景観や利便性の向上によって駅前広場内の迷惑駐輪が大きく減少し、事業による一定の効果があった。	
竹瓦温泉の年間利用者数 (有料利用者のみ) (人)	88,973 (H16)	89,000	88,179 (見込み値)	年間利用者数は、事業実施以前は年々減少傾向となっていたが、事業実施後には減少傾向が確認でき、目標達成には至らないが、一定の効果が見られた。	
JR 別府駅の乗降客数 (人)	3,934,015 (H16)	当初設定なし	4,096,995 (見込み値)	駅及び駅前広場の再整備、自転車駐輪場の整備により、乗換利便性の向上、交通結節機能の改善がなされ、サイクルアンドライド等の利用が増え、乗降客が増加した。	
竹瓦温泉の年間利用者数 (無料利用者を含む) (人)	106,384 (H16)	当初設定なし	107,516 (見込み値)	老朽化した竹瓦温泉がリニューアルし、安心して入湯ができ、また、建物としての優れた景観がよみがえり、市民や観光客の利用が増加した。	

今後のまちづくり方策

まちの課題の変化

- 駅前広場や北浜公園が再整備されたことで交流空間が確保され、市民や観光客の憩いの場として利用されている。
- 温泉等の核となる施設を整備したことで回遊性が向上し、都市の活力低下が改善され、大型商業施設の来店によって商業機能の低下は改善された。また、中心市街地活性化の施策により、空地、空店舗対策を実施しているが、商店街には空地、空店舗が未だ残っている。
- 自転車駐輪場が整備されたことやガソリンの高騰などの社会情勢により、自転車による駅の利用者が増え、自転車駐輪場内に放置自転車が多く見られるようになった。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- 駅前広場や北浜公園の交流空間を維持することにより、駅を中心とした地区内連携を強化し、中心市街地の活性化に寄与する。
- 拠点施設（駅周辺、公園、温泉）を活用し、中心市街地の交流の促進や回遊性の向上を図り、歩いて楽しい空間づくりに努め、都市活力のさらなる回復を目指す。また、市民と一緒に創り上げた施設等に関しては、施設の活用や維持管理について今後も検討を行っていく。
- 整備された駅前広場をJRと共同で適切な管理運営を行う。
- 中心市街地活性化計画に位置付けられた施策を実施し、商店街全体の活性化を図る。また、観光客のニーズに応じた観光戦略の検討を行う。
- 自転車駐輪場内での放置自転車の管理を強化する。(放置自転車の撤去頻度を増やす)